



# いすぐみだより

2025年度 1月号

尚徳福祉会生麦保育園



新しい一年がやってきました。長いお休みが終わり、子どもたちのおうちでの出来事を聞くのが楽しみな担任たちです。2026年は午年！力強く前進する馬のように、新しいことにたくさん挑戦する一年にしていきたいと思います。

今年もよろしくおねがいいたします♪



## 今日はどこに行く？

りす組に進級して、様々なところへ散歩に出かけてきました。はじめは河川敷や貝の浜公園、花月総持寺駅まで電車を見に行くなど距離が近い場所が多かったのですが、最近はキリンビールやさくら降園、総持寺など活動範囲もぐっと広がりました。帰りはいつものんびりな足取りになっていた子どもたちも、さらに健脚になり体力もついたのか行きと同じくらいの速度で園に帰っています。

散歩前には、その日の行き先と散歩のときのお約束を必ず話しています。一人で行かないこと、友だちの手を離さないこと、車が来たら止まって待つことなどなど。。今までは保育者が必ず各ペアと手を繋いでいましたが、進級に向けて子どもだけで歩くようにしています。友だちと歩幅を合わせたり、前の列との間隔を意識したり。。散歩中は子ども同士の会話も弾むようで、そっと耳を澄まして聞いていると「今日はいいお天気だね」「あったかいねえ」「暑くなってきたね」と他愛もない可愛いやりとりも聞かれます。保育者とは給食の献立を一緒に予想したり、お休みの日の出来事を話したりして、お散歩も大切なコミュニケーションの時間になっています。これからも子どもたちと一緒に行き先を決め、たくさん出かけたいと思います♪



## 朝と夕方は。。

朝夕はお隣のあひる組さんと合同保育をしています。昨年度までは自分たちが「あひる組」だったので、お兄さんお姉さんの遊びに混ぜてもらったり、玩具を譲ってもらったりしていました。それが今ではあひる組さんたちを迎え入れる「お兄さん お姉さん」の立場になり、優しく迎え入れる姿と、相手を分かっている上で葛藤する姿の両方が見られています。自分たちが作ったブロックやパズルなどを触られると思わず「えーん」と泣いてしまったり、言葉より先に手が出てしまったり。。りす組の子どもたちは身近な玩具を様々な物に見立てて遊ぶことがとても上手なので、あひる組の子たちにとっては魅力的に見えているようです。近くにあひる組の子が来ると、「一緒にやる？」「ここに座ってね」とごっこ遊びを手取り足取り教えてあげている姿も微笑ましいです。あひる組と一緒に過ごすときは「お兄さん お姉さん」でしたが、進級してうさぎ組になると「にこにこまんグループ」という異年齢活動があります。4歳、5歳のお友だちの刺激を受けて、さらに子どもたちの遊びの世界が広がっていくことでしょう！りす組でもこれからたくさんの経験をして、友だちや異年齢との交流を深めていきたいです。

## おしらせ

- ★降園時、子どもが廊下を走ったり玄関で遊んだりしないようご協力をお願いします。お迎え後は、保護者の方が子どもから目を離さないようにしてください。
- ★園内の共用部分は他クラスも使用します。子どもたちにもお迎えが来たら速やかに帰ることを約束しています。なかなか降園されない場合はこちらから声を掛けさせていただくこともあります。すみやかに降園をしてください。ご協力をお願いします。

